

## 第5回 神野公園再整備検討委員会 議事要旨

日時：令和6年2月9日(金) 13時30分～15時30分

場所：神野公園 神野のお茶屋

委員：後藤隆太郎、徳田誠、木下博幸、上赤博文、かくもとしほ、  
富田紘次、納見浩司、馬場久雄（8名） （敬称略）

アドバイザー：佐賀市情報発信強化アドバイザー 博報堂ケトル 井手康喬

### 議 事

#### ■神野公園再整備についての委員コメント

##### ●前回（第4回）の振り返り

○前回は整備イメージ図が出て、その辺りを踏まえ、個別箇所に関してご意見があり、それを整理されている。

##### ●「7つの体験」の項目について

（井手）「季節（四季）」という言葉が、「年間通じて同じもの」ではなくて「変わっていくもの」。

催事やイベントとして限定した期間だけやる体験として想起しやすい「トレンド・イベント」という言葉に変更。

「カルチャー」は、今流行っているアニメや、若者の間で流行っているスタイル等の意味。

○「7つの体験」と言いつつ項目のバランスが良くないため、「賑やか」など大和言葉はどうか？

○この言葉は今後一般の方の見えるところに出るか？

（井手）出る想定で、聞いた人が体験をイメージしやすい単語を選んだ。コンセプトは外に出るべき。

○全部「体験」⇔「学び」だ。

（井手）キャッチコピー/コンセプトの文章に「学び」の要素を追加すると良い。

##### ●再整備のキャッチコピー／コンセプトについて

（井手）タイトルは、「新！神野公園 令和のリニューアル再整備」と「New KONO PARK！ 神野公園リニューアル再整備」の2案を提示。コンセプトは「お殿様とみんなで作る水の広場」。

○この公園のお殿様は、堅い厳格なイメージと違い、公園に一般の方を招きいれたり、親しみやすいお殿様像があり、公園のイメージがあう。

○歴史をどう現在に活かして、つなげれば良い。

○キャッチコピーのモニュメントや看板、写真スポットをつくるなら、英語表記のロゴがリニューアルのイメージはある。

○「KONO PARK」ではなく、アルファベットで「KONO KOEN」とするのが良い。

○お殿様と「みんなで作る」となっているのを「みんながつくる」としても良い。

○前回、「水」というキーワードも議論した。それで、「水の公園」という言葉にした。

○長崎ペンギン水族館は、「ビオトープ」というワードがたくさん出てきて、ビオトープに関心があることをすごく感じた。神野公園もビオトープを主にしていけば、関心や魅力が上がる。

- トンボ池などもあり、ビオトープ的な要素は今もある。
  - 神野公園は歴史のある公園で、7つの体験の中に歴史があるのはすばらしく、新たに地域の人が神野公園を意識する。
  - このコンセプトの中で「お殿様」と「水」というワードが強い。再発見することで、この言葉がどんどん次のものに進化や発展していく。
  - 水というキーワードは、神野公園に限らず佐賀平野全体で言える。特に神野公園は、隣の多布施川との連携がある。
  - 「お殿様」というキーワードはここしかない。キャッチコピーが、この再整備計画の中だけで使われるのか、広がっていき、神野公園の名前が変わるのが気になる。  
(井手) 歴史ある公園なので、正式名を変えるより、リニューアルして新しく見せたい。
  - どちらかというに変えないほうが良い。が多数。
  - 「令和のリニューアル」は、なかなか良いワード。
  - 「水の公園」というのはキャッチーだ。
  - 若い人、子育て世代のSNS利用世代の意見が聞きたい。佐賀市民には、漢字の「神野公園」が、本当に定着しているので、正式名称はあまり変えようという意見はない。  
(井手) こういう昔からある公園が生まれかわって新しくなるのは、新鮮ですごく驚きやニュースになる。「New KONO PARK」はキャッチコピーで、その時期だけ使うフレーズになる。名称は神野公園のまま「神野公園 令和のリニューアル」にすると、まとまる。  
(井手) 名前は変わっていない。ただ、キャッチコピーとして「New KONO PARK」を使うと少しワクワクする感じがでる。「お殿様とみんな“で”つくる」を「お殿様とみんな“が”つくる」の方が良い。
- 委員（全員）：良いです。

## ●再整備計画図（案）について

(行政) レジメ「再整備計画図（案）について」（説明）

(井手) お殿様の水の公園という大まかなコンセプトは先程の皆さまの議論と前回までの話もありましたが、肝心のお茶屋の活用について具体的なアイデアを入れさせていただければと思い提案した。アイデアとして、コンセプト体験型のプレミアム宿泊施設を考えた。泊まることで、佐賀の文化や歴史を凝縮した品質の高い宿泊施設で、シンボリックな存在になり泊まった人は佐賀の文化や歴史を凝縮したものを体験できる。迎賓館やパーティーなどのイベントにも使える場所になる。

(井手) 整備を考えると、宿泊客のプライベート空間を守るために目張りや囲いが必要。宿泊業者が入ってきて閉ざされた空間になるのはデメリット。どこまで開放するのか色々な意見があり、具体的な使い方等を含めて、皆さまのご意見いただきたい。

○お茶屋で「食」の話があり、「食」の場という事務局からの説明もあったが、サウンディングと食という案もまだ完全に消えてないか？

○江戸時代は、直正公がくつろぐ場所で、領民に公園全体を開放する時もあったが、ここは領民が入らない場所で、鍋島家の方がくつろいだ。

○「The LORD HOTEL 鍋島」という名前の響きが良い。お茶屋の景色を色々な人に楽しんでいただくため、昼間は一般開放で誰でも来られる空間で、夕方以降は宿泊の方に分けても良い。

○プライベートな空間、お茶屋から大池が見える開放的な感じを残すことができれば良い。

(行政) 「面白い」との意見があれば、再整備で宿泊施設を検討する。

○お茶屋から池を見たらすごく良い休憩スポットで、有料にしても良い。特別な景観を拝見しながら、お茶を頂くなど、目で見ると贅沢があるので良い。皆さん歩かれているが、お休みするところが無い。

(井手) 普通のホテルでも、自由に入ってくつろげるロビーや中庭等があり、みんなで使えるスペースを設けて、プレミアムな宿泊の場所は奥の方にゾーン分けをすると良い。

○新築で建てかえた方が、インパクトがあり、建築的に面白い。それこそ建築家選びから始まり、そこから脚光を浴びさせることをイメージした。これをリノベーションするというのも面白い。現代として特別なもの、ハイレベルなものを作ったら良い。

○宿泊できれば良い。問題は管理の面。

(井手) 隔林亭からお茶屋まで籠に乗って来ることが出来たら、お殿様体験ができて面白い。

(行政) 自然体験ゾーンで、水路のビオトープは良いが、図面でいうHの下の水路の近くに木が生えている樹林地がある。樹林地では木や昆虫や鳥などとの触れ合いを提供したい。

(行政) 子どもたちにカブトムシなどを採って欲しい。

○松林の方が良い。

(行政) 子どもの頃にやっていたカブトムシやセミ、テントウムシを子どもが採るといった触れ合いゾーンとして整備を考える。

(行政) 今、日陰があまりないので、グランド側にも植樹をして日陰を作り、水路に木陰と日光が差すような自然を再現する。

(井手) 真ん中のゾーンは「お殿様の水の庭園ゾーン」などキャッチーな体験が分かる名前が良い。「芝生広場」は分かり易いが、「水辺」は公園全体のコンセプトなので、「水辺」を使わない方が良い。

○「日本庭園ゾーン」に隔林亭からの風景があり、お茶屋からの水辺の景観もあるが、向こうからだけでなく、こちら側が見える、水面や水辺の景観への意識は大事。

○今までは造園業者が入り、公園を手入れしているが、水辺の環境の維持はしない。

(行政) 指定管理の中で、作ってそのままだと環境維持ができないので、環境の維持まで含めた指定管理をする。今までの公園とは違い、お店を出すなど儲ける手段を作っていく。

(行政) 神野公園は綺麗だから来る、水路がきれいだから来るという事業を持った形で、指定管理をやっていただく。単に、伐採や木の剪定など維持管理ではなく、公園全体として実施してもらう。

○ホテルの提案は、すごく面白い。夢があり、新しい建物を考えるなら、火が使えないなどの文化財としての制約があるので、隣接して別棟を建てる。

その場合、景観を阻害するかもしれないので、大池と東側ぐらいのところ、建物の中を流れている水路を引き込んだらどうか。

○江藤新平像が中心的な場所にあり、大きさも目立つ。コンセプトの中で「お殿様とみんながつくる」ことで、神野公園の主人公は鍋島直正公になる。江藤新平にふさわしい場所の検討が必要。

○管理事務所が江藤新平像の近くにあるが、トイレを幾つか撤去する話がある。この位置でなければならぬ説明と、もう一度、総合的に考えていただく。

○駐車場をリニューアルするにあたり、わかりやすくする、使いやすくする、分散しているものをどうするかが非常に大きな点だ。

○交通公園を駐車場にするのはどうか。

(行政) 駐車場も含めて検討していくが、交通公園の横が住居である。駐車場にすると、地元に必要な説明をする必要がある。また、公園区域でもなく、所轄も違うので、今後検討していく。

○駐車場が土日混み合い入れない、場所が分かりにくいことは、リニューアルで改善すると期待されて

いる。駐車台数が増えたら何かPRにもなり、有料化してどこの駐車場が満車など分かりやすく表示すると良い。

(行政) 芝生広場や、南北の八つ橋を広げたりしている。管理事務所は公園のほぼ真ん中に置いて、トイレも一緒にできることと、位置をご議論いただきたい。

### ●再整備計画修正図

○こども遊園地の前がメインのゲートだったら良い。

(井手) Dの場所と隔林亭あたりに飲食店が入るイメージで、「食」を体験の一つとする。芝生広場でボックスを広げて食べることができたり、景色の良いところで食べたり、体験として際立つことが出来ると良い。

(井手) テイクアウトをメインで、屋根付きや広いスペースで、カフェに多くの人が休める場所があると良い。駐車場は少し広めのスペースでやるのも良い。

○Gのさくら広場は、多くの来園者が西と南側に車を停めて、園内にアプローチするため、公園の表札、顔になる部分で、エントランスとしてはGの方が良い。

○駐輪場もどこにあるのか分かりづらい。

○車のナンバーを見ると、佐賀ナンバーよりも福岡、久留米、長崎、佐世保が多いため、駐車場が必要だ。

○子どもを公園に連れていくのに、駐車場が必要で有料にしても問題ない。

○大池の左側を歩いて通ってきたが、川の水が綺麗で、この川を大池に流すと良い。この池に鯉を放流して、餌を自動で販売できるようにすれば良い。綺麗な水が流れていて、近くには多布施川も流れており、その水も引き込めば潤いがでる。

○文章も後で気づきがあれば変えても良い。概ね我々としても同意したということ。意見が複数あり、幾つかアイデアはありましたが、公園として大きくゾーンが変わらない。

### ●今後の日程

(行政) パブリックコメントを次の第6回までの間とする予定。